

(No.714. 2024.10.1)

カトリック田園調布教会報

☎03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

洗礼の完成、一致のしるし

助任司祭 アントニオ金東炫神父

十月の始まりと共に、秋という季節が訪れました。イエス・キリストを信じる者にとってこの季節は、収穫の喜びと共に信仰の実りを深く味わう時でもあります。特に今年は、宣教協力体の三教会の合同堅信式が田園調布教会で行われます。聖霊の働きによって洗礼が完成され、教会との完全な一致のしるしがあらわれるこの時に一人ひとりの信仰を新たにするために、堅信の意味を改めて確認してみたいと思います。

聖霊の働きと堅信の秘跡…私たちは洗礼の時、神の招きに応え、信仰に生きることが誓いました。しかし御言葉に従うための力、知恵、そして勇氣はまだ十分ではありません。このような私たちの弱さをよく知っておられる主イエスは助け主である聖霊の派遣を約束されました。

「弁護者、すなわち、父が私の名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、私が話したことをことごとく思い起こさせてくださる。」(ヨハネ 14:26)

この約束のとおり、私たちは堅信の秘跡を通して聖霊とその豊かな恵みを受けます。聖霊の働きの頂点である堅信の際、受堅者の額に聖香油が注がれ、「油注がれた者」キリスト者と呼ばれるようになり、魂に「消えない聖霊のしるし」が刻印されます。

受堅者は聖霊の満ちあふれる恵みを直接受け、イエス・キリストと完全に結ばれるようになります。また、神のご計画を実現するために必要とする聖霊の賜物「**上知、聡明、賢慮、勇氣、知識、孝愛、主への畏敬**」が一人ひとりに与えられます。



この賜物は個人の成長のみならず、教会共同体全体の成長をも促します。

イエスの弟子たちも最初は恐れや疑念を抱いていました。しかし、ペンテコステの日、聖霊を受け、彼らの恐れは消え去りイエスの使徒として力強く歩み始めました。同様に、私たちも聖霊の働きによって神の愛を疑わず信じる誇り高いキリスト者となるのです。

信仰を日常に生かす…堅信はただ一度ですが、聖霊によって強められた信仰生活は愛と希望と信仰に生きる継続のプロセスです。
聖霊の働きによって神の民の成員となった一人ひとりが、互いに支え合い共に福音を証しする歩みを今一度確かなものとしていきますましよう。

聖霊が私たちの信仰の火を燃え上がらせてくださいますように。

初聖体2024



六月二日、九時ミサにおいて竹内主任司祭の司式により十一名の子ども達が初聖体を受けました。朝から雨が降っておりましたが、ミサが始まる頃には雨が上がり、嘘のように晴れました。

これまで一生懸命お勉強し備えてきた子ども達への神様のお恵みですね。ミサ後には五年ぶりに祝賀会が行われ、素晴らしいお式となりました。

教会委員会 I・M

「感想文」

マリア・ラファエラ W・N

私は今日、はじめてご聖体をいただき、口に入れるととてもうれしくなりました。なぜなら、ご聖体を食べられたことと、イエス様を感じられたからです。これからは、ご聖体はいつしように楽しみます。

ジュリオ H・A

友だちとキリスト教のことを学び、なかよくみんなとエリチンであそべて、ごせいたいをはじめたべたときにおいしくて、みんなとよくじをできたからのしかつた。

「ご聖体の味」 ラファエル Y・T

ご聖体をいただく時、どんな感じかなと少しワクワクしました。ご聖体を食べた時、パンの味かなとドキドキしましたが、紙み

たいな味でびっくりしました。
神様の子どもとして、よろこんでもらえる
ぼくになりたいです。

「初めてのパン」 ミカエラ S・S

初聖体をうけて、一番きんちようしたと
ころは、ご聖体をいただく時でした。
私は一番さいしょだったので、とてもきん
ちようしました。いつもみんなが食べてい
るのはこれなんだ、と食べて思いました。
ものすごく、楽しくてうきうきしました。



「パンを初めて食べた時」

マルガリータ K・M

私は、パンをたべたとき、紙のような、
あまいようなあじがしました。
「どうして、紙みたいなのに、甘い？」と
思いました。

「初聖体までの勉強会」ミカエルM・Y・T

僕は、初聖体の勉強会の最初はうまくで
きるかは、わからなかったけど本番までに
できると思ったから、本番までの勉強会は
すらすらとうまくいきました。

なので、本番の前のリハーサルは時間がか
かったけど、本番の当日はいろいろな人や
家族が見ていたけどうまくいったので良か
ったです。でも、今まで勉強会をやってき
たかいがあつたなと思つて自分にじしんが
つきました。



マリア・フランツィスカ M・C・H

わたしが初聖体でよかったことは、はじ
めて、初聖体でパンをもらつて、ほんとう
に、うれしいです。

さいしょ、前のだんにのつかつておかあ
さんおとうさんおばあちゃんが前で、みて
たからはずかしかったけど、おもいつきり

がんばってちゃんと、初聖体をおわらせられました。

これからどんな自分に、なりたいかという、わたしは、今、初聖体をうけて、うれしいけど、今、わたしは、イエスキマのパンをきにいってないけどどんどん、パンの、あじがわかるからそれでいいなと思えました。

わたしが、今、がんばりたいことは、ちゃんと、パンの、もらい方をしりたいなと思いました。



マリア・ラファエラ K・T

二〇二四年六月二日に初聖体をうけました。私は朝からみな様方にお会いできるととパンを食べることがとても楽しみでした。私はミサがはじまると、前に出ることが少し楽しみで半分はドキドキの気持ちでした。洗礼もうけました。神父様の所で、「ちかいます」をいうことがとてもドキドキでした。

私は洗礼をうけて、一生神様と一緒に思っただので心強くなりました。

洗礼式の次に初聖体をうけました。私は前に出てパンを食べた時は、スキマのお体をもらってうれしかったです。パンは、やわらかくて、何も味はしませんでした。

私は学校の人などうけられてとてもうれしかったです。これから私は、何があっても神様がいてくださるから助けてくれると思います。

サマーキャンプ

いつもの子供たちのにぎやかな声が、また「山の家」に戻って来ました。

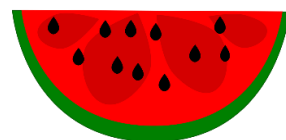
二〇二四年八月十八日（日）～八月二十日（火）まで、長野県あずまや高原「山の家」で、恒例の教会学校サマーキャンプが行われました。



二〇二〇年から三年間コロナ感染症の影響で教会学校サマーキャンプは実施されず、昨年久しぶりに「山の家」でのサマーキャンプが実施されましたが、昨年はまだコロナ対策を行った上でのプログラムであったため、子供たち、リーダーたちも少し遠慮した雰囲気でした。

しかし今年は自然の中で大声で叫び、また野山を走り伸び伸びと楽しんで過ごしていました。

子供たちが楽しく過ごせるため、コロナ禍の期間もいつでも「山の家」が使えるように管理してくれた「山の家管理グループ」の皆さん、七月に掃除に参加してくれた教会学校保護者の方々、教会学校リーダーのお手伝いをしてくれた臨時リーダー、サマーキャンプ中の食事のお仕事をしていただいた炊事サポーターの方々など、本当にたくさんの方々に支えられてサマーキャンプが行えたことに感謝いたします。



特に担当司祭のアントニオ・キム神父様は教会のミサなどのスケジュールが詰まっている中、サマーキャンプでのミサのためにわざわざ新幹線で「山の家」と東京を往復してくださいましたこと大変感謝しています。

子供たちが、たくさんのお恵みを受けて、記憶に残る楽しいサマーキャンプになったことを神様に感謝いたします。

教会学校サポーター 矢野 勉

パイプオルガン組立ワークショップ &パイプコンサート

大聖堂のパイプオルガンをメンテナンスして下さっているマテュー・ガルニエ氏が、ポジティブオルガン（クララ聖堂にあるタイプのパイプオルガン）を解体した状態から、オルガンのパーツや仕組みについて分かりやすくお話し、その場で組み立てていきます。

組み立て終わったオルガンを、古い時代の調律法を使って調律し、大聖堂のオルガンと聞き比べてみたり、その時代の音楽も聴いていただきます。大聖堂のオルガンの演奏もあります。

この企画は大聖堂のオルガンのオーバーホールを含め今後の維持のための教会への献金とさせていただきます。ガルニエ氏のワークショップは各地で好評を博しており、大人も子供も一緒に楽しめると思っています。

教会のオルガンに興味を持って頂ける機会となれば幸いです。

場所 カトリック田園調布教会 大聖堂
日時 十月二十七日(日)

開演 13:30 (開場 13:00)

入場料 前売り 二千元 (当日券有り)

主催 オルガンコンサート実行委員会

出演 マテュー・ガルニエ氏、

当教会オルガニスト



図書室よりお知らせ

森司教様が亡くなられて一年が過ぎました。今 改めて司教様が教えて下さったことを心にきざみ、私達の生活に役立てていただきたく図書室にある司教様の本を紹介いたします。

森一弘著 「キリストの言葉」

「人生を支え、老いを照らす光」

「教皇フランシスコ」

「聖書のこころを読む」

「心の闇を乗り越えて」

「どう生きたらよいか」

「これからの教会のありようを
考える」

図書室は第一・第三日曜日、九時から十三時まで開いております。現在約15,000冊の蔵書がありますので、どうぞご利用ください。また、お手伝いして下さる方も募集しております。

図書係 I・J

五年ほど前から平家物語の授業に出て、長い物語を読んでいます。各所に熊野、白山、巖島信仰、仏教の教えなどが出てきます。そこで、一度は彼らの信仰した熊野三山がどのような所か見てみたいと思います。七月にバスツアーで出かけました。

三河安城までは新幹線、その後はバスで巡るのですが、三河安城からは高速を使っても四時間、途中休憩が入るとは言え、往復長丁場の移動で、少々大変でした。

私はカトリックの家庭に生まれたので、家には神棚も仏壇も無く、両親は将来、私がカトリックの人と結婚できるかどうか分からないことを心配して、他所の家に伺った時には、必ず、その家の神棚と仏壇にはご挨拶を欠かさないようにと、うるさく申しておりました。

聖心のシスターだったと思いますが、生徒たちにはカトリック以外の人と結婚することが多いだろうが、必ず、その家の神棚と仏壇は心をこめて丁寧にお掃除するように、とおっしゃったそう。その話も繰り返して母から言われました。



【 那智本宮大社 】

幸いにも（！？）結婚しなかった私には無用の教えでしたが、やはり他所の家に伺った時は、お詣りの仕方を教えていただき、ご挨拶はしています。その家のご先祖やその家の守り神様、その家の方々への尊敬の気持ちを表すための礼儀と思います。

しかし、私の知識もそこまで、お寺の中にある鳥居、つまり神仏習合とか本地垂迹が、いまだにしっくりと理解できず、何やら腑に落ちないでいます。

そんな私が熊野三山巡りをしたのですからあとから大いに反省したことがあります。

熊野三山は本宮大社、速玉大社、那智大社と青岸渡寺を指しますが、この中の那智大社は那智の滝をご本尊としています。



【 那智の滝（右）と
那智速玉大社（上） 】

つまり滝そのものが大事な神様と言うことなのでですね。観光気分に参加し、暑かったので爽やかな那智の滝を見て、私は大喜びで写真を撮りまくりました。

そしてツアー全員が整列して滝の正面でお祓いを受ける、と言う時にも、少し離れた所からではありましたが、のんきに動画撮影などしていたのです。

後からツアーに参加していた人から、お祓いの幣と滝と一緒に撮影してはいけないのだと聞いて、仰天しました。（滝だけなら良い）

これは言い換えれば、ミサ中に祭壇を、それもご聖体をかかげられている時に、動画撮影していたのと同じではないか、と。信仰している方々にとっては大変失礼なことだったと思い至り、心から反省いたしました。

以後、十分に気を付けます。



【 那智の滝と青岸渡寺 】

〈信徒連絡会〉

七月・九月 議題書 ※文中敬称略

日時 二〇二四年七月十四日、九月八日

10:00～10:30

行事・予定

七月十四日(日)

信徒連絡会

八月六日(火) ～十五日(木)

日本カトリック平和旬間

八月十五日(木) 聖母被昇天

八月十八日(日) 世田谷南宣教体…

ルワンダ関連公園

(碑文谷教会にて)

九月一日(日) 教会委員会

九月八日(日) 信徒連絡会

九月十五日(日) 敬老の集い

九月二十九日(日) 教会委員会 *変更

十月三日(木) フランシスコ帰天祭

(トランジトウス)

十月六日(日) フランシスコ祭

世田谷南宣教協力体

合同堅信式

十月十三日(日) 信徒連絡会

各会報告など

典礼委員会

七月

◎ コロナ禍で控えておりました大聖堂の聖水盤の使用を六月三十日より再開いたしました(クララ聖堂では六月二十九日より再開しております)。今後、聖水盤の管理は典礼委員会が担当いたします。

九月

◎ 八月十五日(木) 十時の聖母被昇天ミサ後に、レジオ・マリエの皆様と協力して、ロザリオの祈りを捧げました。

正確な人数は数えておりませんが、過去に例のないほど多くの方にご参加いただきました。
ご参加・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

財務財政委員会

七月

◎ 六月三十日中間決算を行いました。関係者の方々ご協力ありがとうございました。

七月・九月

◎ 財政状況が非常に厳しい状態が続いています。皆さまのご理解、ご協力をよろしく願います。

福音宣教委員会

七月

◎ ふれあい福祉バザーにてフランシスコ饅頭を販売。

九月

◎ フランシスコ祭にて作品展を実施予定。

絵画、写真、作品を九月十五日、二十日に信徒会館にてお預かりし、九月二十八日から十月十一日までの期間展示致します。

子供のためのお絵かき会を九月一日十時～十一時にホールにて実施。俳句作成コーナーも設けます。

フランシスコ祭の時にフランシスコ
饅頭の販売を検討しています。

バザー委員会

七月

◎ バザー開催日時：十一月二十四日
(日)8:30～13:30 (予定)

*オルガンコンサート有

スローガン… 『皆でつくる楽しい
バザー（一人ひとりの手をつないで
大きな輪に広げよう）』
ポイント… ① 飲食系を再開

② いろいろな形での参加促進

③ ゴミは出さない

現在、お知らせ第一弾配布中。意向
調査「14%」。結果でマッチングを予
定。7/20に作戦会議。出店予定者と
も、事前打ち合せを経て進めます。
(参加促進・適正価格・ゴミ対策他)

環境部会

七月

◎ 五月の新人歓迎茶話会以降、たくさ
んの方が活動に参加してくださるよ
うになりました。落ち葉掃きはもち
ろん、花壇や生垣の整備など今まで
手が回らなかつたところも作業がで
きるようになってまいりました。引
き続き、ご協力をお願いいたします。

◎ 七月二十一日に、大学生の方々が大
聖堂の清掃の奉仕に来てくださいま
す。同時刻 九時ミサ後に落ち葉掃き
をします。皆様もぜひ、ご参加くださ
い。

福祉委員会

七月

◎ 七月七日のふれあい福祉バザーを十
二団体の参加にて行いました。皆さ
まのご協力ありがとうございました。

当日は暑かつたため、時期の見直し
の要望が多く寄せられました。また、
教会内の福祉グループを知ることが
できてよかつたとの意見もいただき
ました。

九月

◎ 九月一日～十月四日までが「すべて
の命を守る月間」となっていますの
で九月七日夕ミサから八日の三回の
ミサ後にコウノトリのゆりかご支援
の募金活動を行います。

委員の皆様にはご負担おかけします
が募金箱を持ってお声掛けと資料の
配布をお時間のある方はご協力お願
いいたします。

九月

◎ 十一月二十四日(日)のバザーに向け
準備しております。

◎ 「皆でつくる楽しいバザー」をテー
マとして、出店含め皆さまの参加を
お願いします。より多くの信徒が教
会に集まれるようにしたいと思います。
います。

九月

◎ 八月は夏休みということで熱中症予
防の目的もあり、落ち葉掃きは休止
とさせていただきました。その間も
落ち葉掃きにご協力くださった方が
いらつしやり、ありがとうございました。
九月は七日より、基本的に毎週
土曜日に行います。

十月六日にフランシスコ祭、合同堅
信式がありますので、九月中に花壇、

植栽を綺麗に整えたいと考えており、いつもより増して人手が必要となります。ご都合のつく方は、ご協力ください。

- ◎ 七月二十一日に大学生が大聖堂の清掃の奉仕に来てくださり、落ち葉掃きにもご協力いただきました。秋から冬にかけて落ち葉が増えてきます。今後機会があれば日曜日に落ち葉掃きを行いますので、ご都合のつくり方、作業を見かけた方はお手伝いいただけると思います。
- ◎ 毎年、八月に実施しておりました法面の下草刈りを、今年は九月に実施することとしました。

音響部会

九月

- ◎ 省令での発信周波数帯の規制に基づきミサに使用するワイヤレスマイクの更新を行いました。また、聖堂階下ホール用として、新たにハンド型ワイヤレスマイク(二機)を追加増設しています。

オルガン部会

七月

- ◎ 十月二十七日(日)13:00、パイプオルガンのワークショップを開催致します。

九月

- ◎ ワークショップ企画・コンサートはパイプオルガンの仕組みをわかりやすく説明しながら小型のパイプオルガンを組み立てていきます。進行中、見えにくい場所の作業もできれば映像で見られるように検討しています。完成後は聖堂のオルガンと聞きくらべるための演奏も予定しています。
- ◎ 今回はガルニエ氏も「オーバーホールをして残すべきオルガン」との認識からワークショップで使うオルガンもお話も全て奉仕でご協力くださいます。他のオルガニストもすべて奉仕でのワークショップです。

- ◎ チケット制 二千円。販売を九月八日から開始 信徒会館ロビーにて (9/8・9/15)

その後は大聖堂入口にて販売します
(9/22・9/29・10/6・10/13)

- ◎ ワークショップで集まった売上利益は全て教会のオルガン維持別途積立に献金いたします。

施設管理部会

七月

- ◎ 信徒会館空調工事期間(付帯工事を含め)：九月二十日(金)～十月二日(水)
- ◎ クララ聖堂(中聖堂)内部は、工事期間中に床に養生シートが敷かれ、移動式の足場(一台)が設置され、工事に関係する四隅の天井には穴が開けられています。が、工事作業中以外に中央部は使用できると思いますが(工事現場の環境を気にしなければ)。ただし、この期間中、クララ聖堂での葬儀等はできませんので、大聖堂で行います。ご理解願います。
- ◎ 一階(地階)書庫の書架はいったん解体し、再組立ては十月一日以降となります。
- ◎ 尚、外部高圧受電設備の変圧器の交



換を八月八日～十六日の二日間で行います。二日間のうち初日は大聖堂棟と信徒会館棟とも一日中停電となります。

◎ 九月 信徒会館空調工事

- ① 九月八日(日) 10:00(信徒連絡会終了後) より図書室書架の解体予定
- ② 九月九日(月) 信徒会館終日停電予定です。冷蔵庫の中のもの一旦撤去願います。

【検討事項、経過事項など】

- ① 窓拭き掃除について
六月十六日、九時ミサ後に窓拭き掃除を行いました。また、その前週に雑巾用のタオルの回収も行いました。どちらもたくさんの方にご協力いただき、教会の窓がとてきれいになりました。ありがとうございました。次回は十二月二十二日に行う予定です。協力いただけますよう、よろしくお願いたします。
- ② 敬老会(9/15) :
・ 十一時ミサ後、茶話会をホールにて行います。
・ 七十七歳以上が対象となります。現在、お誘い的是がき準備をしております(八月中旬郵送予定)。
- ③ 聖堂後方の机上について :
・ 今後は、聖書と典札、献金箱、そのミサに使用する資料(聖歌など)のみとする。その他は、ホワイエ等におく。
※現在種々のお知らせなどが散在しているのを整理するため。
- ④ 世田谷南宣教協力体 合同堅信式(10/6午後3時 : 田園調布教会にて) :
・ アンドレア・レンボ補佐司教様司式で行われる。24名(田園調布 : 10名、碑文谷 : 6名、上野毛 : 5名)の方々が受堅予定です。
・ 堅信式の後(三時半頃より)、フランシコ祭の一環として、アンドレア・レンボ補佐司教様よりフランシコに関するご講話、懇親会が行われますので、皆さまご参加ください。
- ⑤ お掃除について
・ 月曜日お掃除(10/12時)のお手伝いが二名減員となり緊急募集しています。お時間が許す方はご参加ください。
・ お掃除の後、神父様方とのお話の機会もあります。